

# セキュリティ マネジメント アプライアンス (SMA) で RADIUS クラス属性を使用してグループ ロール マッピングを設定する

## 内容

[概要](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

## 概要

このドキュメントでは、セキュリティ管理アプライアンス(SMA)でRADIUSクラス属性を使用してグループロールマッピングを設定する方法について説明します

## 要件

SMAとRADIUSの設定に関する基本的な知識があることが推奨されます。

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- AsyncOS 7.2.x以降
- セキュリティ管理アプライアンス
- RADIUS サーバ

**Q.セキュリティ管理アプライアンスでRADIUSクラス属性を使用してグループロールマッピングを設定する方法は？**

**A. SMAのRADIUS認証を使用すると、管理者はSMAのWebグラフィックユーザインターフェイス(GUI)へのアクセスをユーザに提供できます。また、RADIUSクラス属性に基づいて、SMAのOperatorなどの異なるロールに異なるユーザグループをマッピングする機能も提供されます。**

SMAのRADIUSを使用してグループロールベースのマッピングを設定する手順は、次のとおりです。

SMA GUIから：

1. [System Administration] > [Users]に移動します([Management Appliance]タブの下)。
2. [External Authentication]の下で[Edit Global Setting]をクリックします。
3. [グループ・マッピング]: field : 「RADIUS CLASS Attribute」。

4. Radiusサーバから「**IETF Attribute type 25 - Class Attribute**」の対応値を入力します。
5. ドロップダウンバーからRoleと入力します。
6. 実行して確定します。

RADIUSサーバは、ユーザグループに基づいて多数の属性に設定できます。ユーザがRADIUSを介して認証されると、SMAはグループ属性を確認し、異なるロールマッピングを割り当てることができます。SMAは、RADIUSサーバーに設定されているRADIUS属性クラス値(標準RADIUS属性番号25)と一致します。

RADIUSサーバーでクラス属性を構成するには、RADIUSサーバーに管理者としてログインする必要があります。

以下に、いくつかの例を示します。

- 「**IETF Attribute type 25 - Class Attribute**」では、**管理者権限を持つユーザーのドメイン管理者の値が表示されている**とします。
- SMA上のRADIUSサーバで、「**RADIUS CLASS Attribute**」に**Domain Admin**と入力し、Role type AdministratorにUnder
- [行の追加]をクリックすると、**複数の[グループマッピング]行を追加**できます

注：RADIUSサーバには、同じクラス属性値が設定されている必要があります。この値は大文字と小文字が区別されます。